



## 人道・博愛の精神で活動を支援 (3月4日)

日赤有功会裾野市支部が向田小学校JRC委員会とみどり作業所に活動費を寄付しました。寄付金は、向田小学校ではペットボトルのふた回収や美化活動に、みどり作業所では奉仕作業で使用する草刈り機の購入に活用されます。山口郊治郎会長は「地域に対するボランティア活動を今後もお願いします」と述べました。

## 一步一步の活動が実を結び (3月5日)

県がん患者会一步一步の会が公衆衛生事業功労者厚生労働大臣表彰を受け、市長に報告しました。患者や家族の生きがい作りやがん検診の普及活動を図ることを目的に活動が続けている功績に対する受賞です。大橋代表は「多くの支援者や協力者があっての活動。授賞を励みにこれからも頑張ります」と話しました。



## 児童生徒の優れた成績を市長が表彰 (3月7日)

文化・科学・学習・スポーツなどで優秀な成績を収めた児童・生徒17人と2チームが表彰されました。高村市長から賞状を受け取った受賞者は「努力が実を結び、受賞できて嬉しい」「現状に満足せず、さらに上を目指していきたい」など、一人ひとりが受賞の喜びや今後の決意を述べました。

## 新1年生の交通安全を願い (3月7日)

明るい社会づくり運動裾野地区協議会から、黄色い帽子501個が寄贈されました。毎年贈られている黄色い帽子は入学式当日に新1年生に配られ、今回で43回目。交通事故は悲惨な結果となります。新1年生がよく目立つ黄色い帽子をかぶることで、事故に巻き込まれないことを願います。





尊重し合える大人になるために (3月8日)

みらいのパパ・ママスクールが東中学校3年生113人を対象に行われました。誕生学アドバイザーの植田正美さんが、親となることの大切さや責任、男性も共に育児・子育てをする大切さについて話しました。生徒たちは妊婦ジャケットや赤ちゃん人形で、妊婦の大変さを体感しました。

地域消防力の更なる強化へ (3月10日)

消防ポンプ車の貸与式が裾野消防署で行われました。西分団で20年間稼動してきたポンプ車を更新しました。分団長へ車両の鍵が引き渡されたあと、車両の安全祈願をしました。大平西分団長は「貸与される車両を責任をもって管理し、訓練に励み、分団活動を充実させます」と誓いの言葉を述べました。

特派員：杉本 武満



あの、その、すその 特派員レポート

■日頃の活動の集大成を披露

(3月3日)



フラダンスなどを、ステージ上での披露しました。手芸作品などの展示やピラティスなどの体験も行われ、子どもから大人まで多くの方が訪れ楽しんでいました。これを機会に講座生や利用者が増えることを期待します。

生涯学習センターで生涯学習フェスティバルゆうあいプラザ祭が開催されました。このイベントは、生涯学習センターの教養講座の講座生と利用団体が日頃の成果を発表するものです。軽快なリズムのヒップホップダンスや華やかな衣装をまとうて



ファインダー越しに舞台上の演技者達の息遣いや緊張感がひしひしと伝わり、思わずたくさんシャッターを切っていました。一生懸命な姿を見て、感動の涙でファインダーが曇ってしまいました。

広報特派員 中村 隆司